

対象	小学校低学年以上
教科	特別活動 防災教育
該当 単元	小学1年 「いのちを たいせつにしよう」 ・じしんのこわさを まなぼう
教科書	
掲載日	2015.4.15. 朝刊 愛知総合版

# 地震防災 親子で学ぼう



ジャッキを使ってがれきにはさまれた人形を救出する体験コーナー。名古屋熱田区の名古屋国際会議場で



地震体験車でテーブルをしっかりとつかみ、激しい揺れに耐える親子。名古屋市北区の黒川東中日ハウジングセンターで

▶ 東日本大震災 同じ揺れ体験

名古屋

◀ ガチャピンを ジャッキで救出

熊本地震から二年になつた十四日、防災意識を高めてもらおうと、県と中日ハウジングセンターが、名古屋市北区の黒川東中日ハウジングセンターで「春の防災フェス」で「春の防災フェス」で、体験した人たちは体験車に備え付けている机にしがみつき、激しい揺れに耐えていた。県の担当者は家具の転倒防止対策のチラシも配布。タンスや棚は「字金具」や突っ張り棒で固定したり、家具の下にさしこむストッパーを設置することを呼び掛けた。

県の防災危機管理課の石川盛久さん(画)は「南海トラフ地震はいつきてもおかしくない。被害を少しでも減らすため、家具の固定など、できることから始めてほしい」と話した。

防災フェスタは二十八日に岡崎市の岡崎中日ハウジングセンター、五月六日に名古屋熱田区、神宮東中日ハウジングセンターでも開催される。(小沢慧一)

防災イベント「親子で楽しく学ぶ防災・減災」が十四日、名古屋熱田区の名古屋国際会議場で開かれた。全国労働者共済生活協同組合連合会(全労済)愛知推進本部と創立六十周年を迎えた愛知労済が主催。全労済の組合員が招待され、親子連れでにぎわった。

会場には防災を題材にしたワークシヨップが並んだ。災害現場のドローンを役割を演ずるブースや、がれきの下敷きになったボンキッキシリーズのキャラクタの組立が招待され、ジャッキを使って救出する体験ブースなどがあつた。

あり、訪れた人たちは楽しみながら、防災意識を高めていた。ジャッキによる救出体験をした名古屋市長の小学五年生、沢井陽人くん(こ)は「ジャッキを使えば意外と軽く物を持ち上げられるので、人を救出できる」と話した。(小沢慧一)

問1 : 右の写真を見て下さい。女の子はテーブルをしっかりとつかんでいます。地震

体験車が揺れているからです。震度はいくつだと思いますか。

- A : 5強
- B : 6弱
- C : 6強
- D : 7弱

問2 : 左の写真を見て下さい。ガチャピンを助けるにはどうすればよいですか。

- A : 頭をひっぱる
- B : 長い机(がれき)をどける

問3 : 左の写真のテーブルは、実際の地震の時に崩れたり落ちたりしてくるがれきの代わりに使っています。この体験会でガチャピンを助けるために使ったのは何という道具ですか。その道具があるとどんな役に立つのでしょうか。

道具の名前( )

( )物を持ち上げられる。

## 【活用にあって】

「天災は忘れた頃にやってくる」・・・こうした言葉も阪神淡路大震災、新潟中越大地震、東日本大震災、熊本大地震などを経験したことで、「備えの大切さ」を日常的に訴えていこうという風潮が、いろいろな場面で感じられるようになっていきます。

しかしそのことが、子どもたちの意識にまで及んでいるかということ、被災地以外ではどこか遠い話になっているように思えます。やはり震災から何年経った今だからといった、記憶をたどりやすい時を指導のチャンスと捉えて、それぞれの場に応じた身の守り方を指導することが重要だと思います。

今回のワークシートは、低学年にもできるように、写真を中心に問題設定しましたが、記事も先生にきちんと読んでいただき、写真も細部まで見るように声をかけ、地震防災の意識を高めて取り組んでいただけるとよいと思います。

### 解答例

問1 : C 6強

問2 : B テーブル(がれき)をどける

問3 : ジャッキ ・ 軽く